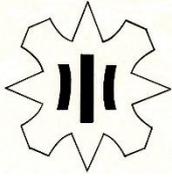


学校だより



せせらぎ

Well-being



令和6年2月号

山中小学校長 尾崎 純子

「やってみよう 山中小！」

1年生が秋に植えたチューリップの球根が中庭で芽を出しました。春になって花を咲かせるのが楽しみです。昨年度末は招待される側だった1年生が、2月末の「新1年生学校体験会」に向けてグループで話し合いながら準備しているのを見て、改めて子どもたちの成長と時の流れの早さを感じました。3月の「6年生を送る会」に向けて、各学年工夫をこらした発表を考え、練習しています。司会など会の運営を担う5年生はいよいよ次年度に向けて、リーダーとしての力を発揮してほしいと思います。あと1ヶ月あまりで今年度も修了します。3学期に始めたよりよい集団になるための5つの視点での取り組みも、子どもたちが自覚をもって頑張ったことが5角形のグラフから伝わってきます。最後までみなで協力し、きちんと締めくくりをしていきたいです。



2月14日 なわとび大会

体育の時間や休み時間に、一人でもしくはクラスの仲間と練習を重ねてきたなわとび大会本番。つらくなっても最後まで粘り強く頑張る姿や、8の字跳びで練習の成果を発揮しクラスの新記録をだして喜び合う姿など子どもたちの様々な姿が見られました。真剣に頑張ったからこそ得られる達成感を味わったことと思います。結果よりも目標に向かい努力した過程を大事に記憶にとどめてほしいです。ちなみに6年生はなわとび大会後も記録更新に挑戦し続け、スポチャレ石川8の字チャレンジ部門で、県で6位入賞しました。入賞おめでとう！



はじめてのなわとび大会に挑戦した1年生
次年度はさらにみんなでたくさん跳ぶことができるといいですね！

児童の作文より（6年）抜粋

・私はなわとび大会を通して、みんなで全力で1つの目標に向かってがんばるということがどういうものなのかを学びました。それは意見の食い違いだったり、お互いを認め合ったりして、もちろんうまくいかないことも多かったし、あきらめていた自分もいました。でも、最後に話し合っ、最終的には新記録をだしてなわとび大会を終わらせることができたし、話し合ったおかげでクラスの雰囲気が以前よりよくなったと思いました。短なわは、もう少し練習すればよかったなと思ったのと、目標記録は超えられたなという、後悔と安心が混じったような感じてした。

・1番心に残ったことは8の字とびです。自分たちは5年生の時は170回とかでずっと記録がとまったままで6年生になってもはじめの方は170回とかだったけど目標の200回を決めてから、練習の時間以外にも練習して200回超えて、みんなで1つの方向に向くとこんなにもできるんだということが初めてわかりました。なわとび大会の日に250回ちょうど目標を達成できたこともうれしかったし、自分は連続で跳べなかったけれども友達に押ししてもらったりして最後には一人で跳べるようになったこともうれしかったです。

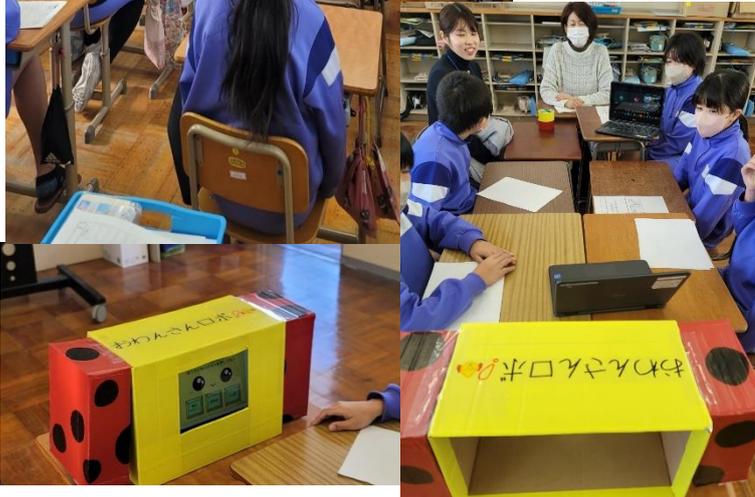
「総合的な学習の時間」

6年生は今年度、市のSTEAM学習も取り入れ「ふるさと再発見～山中温泉 過去・現在・そして未来～」というテーマで1年間少しでも地域貢献できないかと取り組んできました。2学期後半からは「山中温泉の未来を切り拓くのは自分たち」とおわんさんや山中漆器を盛り上げよう取り組み、1月最後に、地域の様々な職業の方々に直接アドバイスしていただくという機会を持つことができました。中には恥ずかしがりな子どももいますが、堂々と自分たちの取り組みを伝える姿に、1年間の成長を感じることができました。アドバイスをいただき、さらに改善したいと現在も取り組み中です。中学校に行っても、小学校で学んだことを生かして行ってほしいです。



6年総合学習成果発表

山中商工会をはじめ地域の方々が来てくださいました。各グループに分かれての発表に対し丁寧にアドバイスいただきました。



4年生伝統工芸「山中漆器」の学習 山中漆器組合の方々ありがとうございました。

